

News Release

平成 22 年 9 月 14 日

株式会社日本政策投資銀行

代表取締役社長 室伏 稔

『新博多駅ビル開業のインパクト～最新データに基づく再試算～』を発行

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏 稔、以下「DBJ」という。）は、このたび「新博多駅ビル開業のインパクト～最新データに基づく再試算～」と題した調査レポートを作成いたしました。

平成 23 年 3 月、九州新幹線全線開通を前に、新博多駅ビル（JR 博多シティ）が開業します。同ビルは、九州初上陸となる阪急百貨店や東急ハンズ等からなる一大商業施設であるほか、延床 20 万㎡に及ぶ大きさから、地域の更なる活性化要素として期待を集める一方、百貨店売上高の低迷も長期化しており、地域小売商業を取り巻く環境への影響がさらに重要視されています。

当レポートは、平成 21 年 11 月に DBJ 九州支店で「新博多駅ビル開業のインパクト」を公表後、開業を半年後に控え、全体の概要も徐々に明らかになりつつある今、分析基礎となる最新の商業統計データ・情報に基づき再計算したものです。

本調査の詳細は、DBJ ウェブサイト「地域・海外レポート（九州）」(<http://www.dbj.jp/investigate/area/kyusyu>)に掲載しておりますので、ご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客さまの信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、今後とも地域のお役に立てる情報発信を積極的に行ってまいります。

【お問い合わせ先】

九州支店 企画調査課 TEL 092-741-7737